



サフラン便り

第52号 23年8月15日発行

発行：佐賀県薬剤師会女性薬部会

佐賀市本庄町大字本庄 1269-1

TEL:0952-23-8931 FAX:0952-23-8941

<http://www.sagayaku.or.jp/josei/index.html>

「元気いっぱい佐賀子育て応援フェスタ2011」報告

<子育てフェスタに参加して>

日時：7月23日(土)24日(日)10:00~16:00

場所：市村記念体育館 サポートゾーン お薬相談コーナー

感想：

* 24日に分包機での調剤を楽しむお子様の母親から相談を受けました。

川崎病の治療薬で貰った薬情に『熱を下げたり痛みを抑えます』とあり、ずっと熱冷ましを飲ませて良いか?と聞かれました。お子様の体重からすると血栓形成予防の分量だったので、そう伝えると一回目の薬情には『川崎病の治療』と明記されていたが、二回目の薬情には用量が減り説明の内容が変わったので不安を感じたと言われました。薬局の入力ミスが患者さんに与える重大さを肝に命じました。(島田)

* 医師会では昨年と同じく佐賀医大の先生がお知り合いのバレーン(風船)アーティストの方と一緒に子どもたちに夢を与えて、歯科医師会では丁寧に歯科検診をされ、長い列ができていました。私たち薬剤師会も今年は分包機でのキッズ模擬体験が人気で、子どもたちはもちろん、保護者の方が興味津々でした。医師会・歯科医師会・薬剤師会と和気藹々と楽しく

お手伝いさせていただきました。(福島)

* このイベントが始まって6年経ちます。最初は喘息の薬はいつまで飲ませるのかとか、虫さされからとびひになりますか、とか病気と薬の質問が多かったような気がします。

最近、ドライシロップと散剤の価格の違いとか、後発品と先発品の違い。子どもにとって有益かという話が出ます。乳幼児医療が無料の為、今まで負担金の違いはあまり気にしてなかった人たちも、保険医療という概念が少しは浸透してきたようです。薬局で聞こえる分包機のガツガツという音、原因が分かって納得していった親たちの興味深さが印象的でした。(宮地)



<育児法原義> 牛乳と人乳の化学的成分及び性質の相違

(1) 牛乳中の蛋白質は人乳に比して約倍多量に含有して居ります。然し哺育児にありては蛋白質の要素は人乳の成分が示すやうに比較的少ないので有ります。尚、牛乳中の蛋白質は量の多いのみでなく、化学的性質に差があります。

牛乳蛋白質は(カゼイン)乾酪素八、アルピューミン一であります。人乳は(カゼイン)乾酪素二、アルピューミン一の比に相当します。ゆえに牛乳蛋白中には人乳の3倍も多量に(カゼイン)乾酪素を含有しております。この(カゼイン)乾酪素は必ず胃中にて凝固まります。この凝固は人乳に比して、遙かに『大且つ、緻密』であります。故に消化困難なるは当然のことであります。これを消化するには膵臓液及び、肝臓液等體中にある補体すなわち殺菌力を持った補体を人乳の3倍も多く費やすので次第に殺菌力が欠乏し、為めに実際の体質が弱くなり抵抗力衰え病気に罹りやすく且つ罹れば重くなりやすいのは道理であります。尚、この消化困難為めついに充分消化できずして、不消化の仔乳児の大便中に白き塊となりて出現するのであります。

(米國ボーデンス・ミルク會社 ボーデンス・モルテツド・ミルク日本部 總代理店 岡本商會版)

女性薬委員会のお話から

*二十歳になったら～ 自分の母子手帳を保管しましょう

母子手帳は、生まれる前からの自分自身の発達の記録や予防接種歴、病歴が記載されています。これは成人してから特に必要な情報が盛り込まれています。是非、二十歳になったら保護者の方から譲り受けて保管しましょう。この運動は佐賀市から始まっています。薬局窓口でも二十歳前後の方、保護者の方々へのお声かけをしてください。おくすりノートと同じく曖昧な記憶より確かな記録が役に立ちます。

*DVについて

- ・家庭内DV：幼児、児童虐待等家庭内暴力をいう。
- ・デートDV：結婚していない男女間での体、言葉、態度による暴力の事です。
親密な相手を思い通りに動かす為の手段で複合的に使われるあらゆる種類の暴力です
- ・高齢者DV：認知症になった親への暴力行為や加害者が認知症で介護者である妻に暴力する場合があります。
寝たきりになりおむつ交換をしてもらう時に、介護者が下着を外す行為に身構え萎縮するそうです。身体で覚えた虐待はいつまでも消えない現実があるとのこと。
- ・男性を被害者とするDV：男性被害者はだれにも相談することが少なく、お前にも原因があるとあしられるような対応で、追いつめられることが多い。

薬局窓口でおかしいな、ちょっと違うんじゃないという疾患や様子を感じたら相談窓口への橋渡しをしてあげてください。

アバッセDV総合相談センター

http://www.avance.or.jp/dvsougou/_1166.html

*エコバッグ試作品

- ・シーチングの30cm×40cmのバッグにフィルム転写の図柄を描いた試作品ができました。すべて手作業となりますが、「おくすりノート」の図案を入れ込むと救急隊の方にも薬バッグとすぐにわかるのではなどの意見も出ています。女性薬委員、皆でアイデアを出し合っている最中です。



<日本女性薬剤師会九州ブロック研修会開催のお知らせ> 別紙参照

先の日本女性薬剤師会学術講演会の1講座を佐賀で開催します。

男女、職種を問わず参加よろしくお願いたします。

<診療ガイドライン薬剤コース 前期スクーリング講座 開催のお知らせ>

日時：平成23年9月4日(日) 9時00分～14時40分(予定)

場所：薬剤師会 2階 研修ホール

内容：「うつ病 がんばってと言わないで」(仮) 大島病院 副院長 大島博治 先生

「糖尿病 重要なことは治療の継続」(仮)

佐賀大学医学部 肝臓・糖尿病・内分泌内科 診療教授 安西慶三 先生

「子宮頸がん発生のメカニズムと予防ワクチンについて」

田中産婦人科 院長 田中博志 先生

「加齢に伴う眼科疾患 目の成人病」(仮) 美川眼科医院 院長 美川 優子 先生

<ちょっと一言>

通販番組を利用する私の楽しみに、一人ツッコミがあります。売手にすっかり乗せられて、何度も失敗したことから始まりました。別の視点で考える訓練にもなります。また見る目を養う手段の一つに、骨董品を買い、それを手元に持ち続けずに売る事で培うことをある人から教わりました。ただ古いだけで実際は何も役に立たないのではなく、その来歴や大切にされた経緯など深く学び取る事ができるからでしょうか。私はまだガラクタと骨董品の仕分けがわかりません。(島田)